

プラズマ・核融合学会誌

第94巻第6号

2018年6月

解 説	磁場印加型レーザーイオン源の開発と高フラックス化に向けた検討	
	 高橋一匡, 岡村昌宏	287
小 特 集	ヘリウムプラズマで誘起する金属表面の繊維状ナノ構造	
	1. はじめに	高村秀一 294
	2. タングステン繊維状ナノ構造の核融合炉環境への影響	梶田 信 296
	3. 繊維状ナノ構造形成過程に関する実験からの知見	高村秀一 300
	4. 繊維状ナノ構造形成過程に関するシミュレーションからの知見	伊藤篤史 306
	5. タングステン繊維状ナノ構造の光触媒への応用	吉田朋子 311
	6. タングステン繊維状ナノ構造を用いたミュオニウム生成	
	 藪内 敦, 大野哲靖, 三宅康博, 池戸 豊, 下村浩一郎,	
	西山樟生, 小嶋健児, 河村成肇, STRASSER Patrick, 藤森 寛,	
	牧村俊助, 中村惇平, 齊藤直人, 三部 勉, 大谷将士, 神田聡太郎,	
	西村昇一郎, 北村 遼, 長嶋泰之, 鈴木卓爾, 長友 傑	315
	7. 第6周期と第5周期の遷移金属におけるヘリウム誘起ナノ構造の発生	
	 上田良夫, 大森晃平, 伊庭野健造, 伊藤篤史	320
	8. おわりに	梶田 信 325
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト.....		327
インフォメーション		329
	幅広いアプローチ活動だより(73)	
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告(65)	
Plasma & Fusion Calendar		334
本 会 記 事		336
	第35回プラズマ・核融合学会年会一般講演の募集	
編 集 後 記		

表紙の絵

TOKASTAR-2 装置の概略図。7種類の磁場コイルを有するトカマク・ステラレータ混成装置である。平行四辺形の外側コイル2個(HFコイル)と扇形の上下コイル4個(AHFコイル)から構成される局所ヘリカルコイルを垂直磁場コイル(VFコイル)と組み合わせて使用することにより閉磁気面を形成する。(Hiromasa ITOU *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol.13, 1402039 (2018) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel:(03)3475-5618 E-mail:info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。